

# 令和3年度 横浜市立境木小学校 出前授業 実施報告

## はじめに

- 公共交通などを適度に利用する生活への転換を促す「モビリティマネジメント」の一環として、様々な移動手段を目的や状況に応じてかしく使い分ける視点を学ぶ授業を境木小学校で実施しました。
- 境木小学校では、総合学習の時間にSDGsの17のゴールについて学ぶ授業を行っています。今回の出前授業では、地球温暖化の話や横浜市でのCo2排出量の話および基礎知識として、バスなどの公共交通の現状や、移動を選択する上で考えてほしいことなどを伝えました。
- 学校の周辺は坂が多く駅から少し離れているため、マイカー利用が多くなっています。授業を通して、バスを身近に感じてもらい、利用につなげてもらうことがねらいです。

【日時】 令和3年11月4日(木) 3・4校時  
【対象】 横浜市立境木小学校  
4年生1・2・3組(84名)  
【内容】 座学  
「人にも地球にも優しい「かしい移動」を考える」



### 学校へのアクセス

JR線 東戸塚駅・保土ヶ谷駅より  
市営バス「境木中学校前」バス停下車  
徒歩1分

## 1 出前講座の全体概要

- 授業の内容・資料は、できるだけ学校の意向に沿ったものとするため、事前に先生と調整を行いながら決定しました。
- 当日の授業は、パワーポイントのスライドを中心に都市交通課の職員が講義を行ったあとクラスのみんなで意見交換を行いました。

### ■ 授業の様子



## 2 授業の内容

- 授業の冒頭でSDGsについて触れ、公共交通をかしこく使うことは「11.住み続けられるまちづくりを」と「13.気候変動に具体的な対策を」に関連することを伝えました。
- 温室効果ガスの原因でもある二酸化炭素が日頃どのような場面で排出されるか、またクルマがもたらす環境への影響や、バスの利用が減っている現状などを説明しました。
- 子どもたちは、バスに乗ることはあるものの普段はおうちのクルマを利用することが多いようでした。
- クイズを交えながらみんなで公共交通が環境にやさしいことや利用者の減少など公共交通を取り巻く環境について学んでもらいました。
- 移動手段を選ぶときは「環境」「お金」「便利さ」など様々な視点から見る事が大切であり、「行き先や状況に応じて、かしこい移動を考える」ことが大切であることを伝え、授業を終えました。

## おわりに

- 環境のことやかしこい移動について、児童からも活発な意見が出たりクイズで盛り上がったたり楽しく学ぶことができました。
- 児童からは「これからどこか行くときは“かしこい移動”を考えたい」「いつもは習い事にクルマで行くけれど、ときどきは別の手段で行ってみたい」などといった声がありました。
- 成長していく過程の中で「便利なクルマに頼りすぎず、バスで行ける所はバスで行くこと」を日頃から心掛け、家族やお友達などと少しずつ実践してほしいと思います。

■ 座学に用いたパワーポイント(一部)

**ちょっと質問**

ヒト1人を、1km運ぶとき、**クルマ**は、**バス**の何倍、二酸化炭素を出すでしょうか？

だれとどこへ何を

(1) 友達と2人で、東戸塚駅へケーキを買いに行くには？

集合場所 → 駅 (お白)

集合場所 → 徒歩 → バス停 → バス → 駅 (お白)

■ 個人ワーキング

あてがった電車に乗ったときよりクルマに乗ったときで、二酸化炭素の量は、何倍か増える？ 2倍くらい減るのだろうか？ 変わらない。1台1台のクルマは、同じと考える。何倍か減る？ 減る？ 増える？

(7) 電車のみで行くとき

項目	電車	クルマ
乗車1人1台1回乗車分	CO2: 310g/人/100円	CO2: 2100g/人/100円
乗車2人1台1回乗車分	CO2: 155g/人/100円	CO2: 1050g/人/100円
乗車1人1台1回乗車分	CO2: 310g/人/100円	CO2: 2100g/人/100円

(4) 電車と徒歩で行くとき

項目	電車	クルマ
乗車1人1台1回乗車分	CO2: 310g/人/100円	CO2: 2100g/人/100円
乗車2人1台1回乗車分	CO2: 155g/人/100円	CO2: 1050g/人/100円
乗車1人1台1回乗車分	CO2: 310g/人/100円	CO2: 2100g/人/100円

(3) クルマのみで行くとき

項目	クルマ
乗車1人1台1回乗車分	CO2: 2100g/人/100円
乗車2人1台1回乗車分	CO2: 1050g/人/100円
乗車1人1台1回乗車分	CO2: 2100g/人/100円

市内を走るバスの1日乗車人員

22年間で約11%減っています